

事業番号	076
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	中心市街地活性化事業							担当部	市民産業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工観光課			
	事業期間	平成24年度			～	平成30年度以降		担当係	商工労政係			
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		29 商工業		1 商店街を再生する					
		副目的										
	予算区分	款	7	項	1	目	2	大	4	中	1	
	根拠法令・個別計画											
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	中心市街地の活性化を目的として、魅力とにぎわい創出に向けた事業を行う。										
	内容 (手段)	<p>平成24年度より小売商業支援事業より分離</p> <p>◆平成24年度実施内容</p> <p>○小牧駅前広場等電飾委託事業 小牧駅前広場等にイルミネーションを設置し、中心市街地の魅力と賑わいの創出を図った。 11月17日～12月25日 40日間 9,644千円 ※H24より都市政策課より移管実施。</p> <p>○小牧駅前広場等電飾企画運営委託事業 イルミネーション事業を地域の商店街、市民団体等と連携して実施することにより、商店街と密着した事業とするべく、にぎわい広場における電飾の企画運営を小牧にぎわい隊に委託実施した。</p> <p>イルミネーションコンクールの開催 募集6団体 委託費 882千円</p> <p>○中心市街地にぎわい創出事業費補助事業 中心市街地の魅力とにぎわいの創出を目指して結成した小牧にぎわい隊の行うにぎわい創出事業への補助。補助金 7,241円</p> <p>○中心市街地空き店舗対策事業費補助事業 ・中心市街地の空き店舗へやる気のある商店主の出店を促すため、空き店舗の改装費、家賃の一部を補助した。改装費2分の1 上限100万円 家賃2分の1 上限5万円(12ヶ月を限度) 4件 3,412千円 その他の経費 3千円(旅費2,500円)</p> <p>◎平成25年直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧駅前広場等電飾委託 12,000千円 ・にぎわい広場電飾企画運営委託 1,500千円 ・中心市街地空き店舗実態調査 5,975千円 ・中心市街地にぎわい創出事業 8,900千円 ・中心市街地空き店舗対策事業費補助金 3,200千円 ・その他の経費 131千円 										
	受益者負担											

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,500	6,653	21,182	31,706	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.30	0.30	1.00
			人件費	千円	1,066	1,599	1,599	5,330
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	4,566	8,252	22,781	37,036		
対前年比	%			180.7	276.0	162.5		
財源	一般財源	千円	2,816	6,589	22,781	31,061		
	国・県支出金	千円	1,750	1,663	0	5,975		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	小牧にぎわい隊にぎわい創出事業の事業件数	件	目標	7	7	8
実績				7	9	7	
業	空き店舗対策事業補助金申請件数	件	目標	—	1	2	3
			実績	—	1	4	
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標	—	1	2	2
業	空き店舗入店	件	実績	—	1	3	
			目標				30
業	中心市街地に魅力を感じる市民の割合	%	実績	16	19		
			目標				

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	中心市街地の魅力とにぎわい創出に向け、小牧にぎわい隊の活動について事業費補助を行うとともに運営をサポートし、多くのにぎわい創出事業を行うことができた。また空き店舗対策事業費補助金については、目標より多い3店舗が出店した。イルミネーションはにぎわい隊の連携によりイルミネーションコンクールの実施に向け色々な方法を検討し実施することができた。				
		事業実施における課題	中心市街地の活性化には、そこに住む人、商店をしている人が主体的に関わる必要があり、いかにその人達を巻き込んでいくかが課題である。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	中心市街地の活性化は、本市の魅力向上と活力創造に向けて必要な事業であり、関係者の理解と協力を得るには、小牧にぎわい隊を中心に地道な活動が必要であり、事業を廃止した場合、その活動が停滞、縮小、もしくは中止してしまう恐れがある。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	中心市街地の活性化を図るうえで、空き店舗を中心に区域内の土地建物所有者、商売を行っている人などの意向の実態を把握する実態調査を行う。				
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの				
	判定理由	中心市街市の活性化に向け小牧にぎわい隊が今後の中心市街のまちづくりの中心推進団体になるようなまちづくり組織に移行していけるようサポート拡充をする。					
	26年度以降の改善案	実態調査をうけ、今後の取り組み方法の検討をすすめる					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	当面は現状の事業規模で事業実施することとし、実態調査をうけた今後の取り組み方法の検討状況に応じて、事業規模を再検討する。